

奥村主将の声に合わせて、勢いよくグラウンドへ駆け出す八学光星ナイン。2日午後4時半ごろ、兵庫県西宮市・阪神甲子園球場



# 気合十分、守備練習に汗

## 光星ナインが甲子園練習

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権に本県代表として出場する八学光星ナインが2日、兵庫県西宮市の阪神甲子園

球場で練習を行った。センバツ以来約4カ月ぶりの土の感触や雰囲気を楽しみながら、割り当てられた30分間、守備練習に汗を流した。

2日未明に大阪に到着したナインは、宿舎で休養を取り甲子園入り。同4時半から始まった練習では、主将奥村の「いくぞ」の掛け声に合わせて勢いよく守備位置に散り、土や芝の打球の跳ね方や、フェンスに当たったボールの跳ね返りなどを意識しながらシートノックを受けた。アウトカウントを設定し、走者を置いた実践的な守備練習

小淵「感覚は अच्छり」

○:2年生で唯一ベンチ入りを果たした八学光星の小淵。センバツではあどわすかのところで背番号をもらえず、甲子園練習で初めて聖地の土を踏んだ。「小さいころからの憧れの場所。めっちゃうれしい」と声を弾ませた。

で連係プレーも確認した。

4人の投手陣もマウンドから数球ボールを投げ、高さや感覚を確かめた。「まずはしっかり守備練習をしてグラウンドになじむことが大事」と仲井監督。主将奥村は「春に比べると硬さはなかったが、細かいミスがあったので初戦に向けて調整したい」と気を引き締めた。

ナインは3日、兵庫県尼崎市の球場で練習する予定。組み合わせ抽選会は4日午後には大阪市で行われる。

(本田海輝)

この日の練習では守備位置の外野を駆け回り、捕手までの距離感やバウンドの仕方を入念にチェックし、「感覚は अच्छり」と笑顔。県大会で共に戦った同学年の向井、小池がベンチ外となり、「2人の分まで頑張る。目立たなくてもいいから、チームの役に立ちたい」と闘志を燃やした。